

---

# 御徒町樹里の冒険外伝 ネコにゃん、旅に出る

神村律子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

御徒町樹里の冒険外伝 ネコにゃん、旅に出る

### 【Nコード】

N8548J

### 【作者名】

神村律子

### 【あらすじ】

御徒町樹里の冒険の外伝です。本編を読まなくても、お楽しみいただけます。

**(前書き)**

この作品を、ネコにゃん様に捧げます。

僕はネコにゃん。その名の通り、猫だにゃん。

実は、僕の大好きな女の子、ノーナしゃんが町からいなくなったにゃん。

それで、ノーナしゃんを探す旅に出ることにしたにゃん。

故郷ふるさとのドウホクカイ王国を出発し、僕は南を目指したにゃん。

何故なら、ドウホクカイ王国は、北の果ての国だからだにゃん。

過酷にゃ旅だったにゃん。

僕は何日も飲まず食わずで歩いたにゃん。

ふと気づくと、僕はキサガーナ王国に入っていたにゃん。

クンクン。

この匂いは！

間違いないにゃん！ ノーナしゃんだにゃん！

僕は嬉しくなって、走り出したにゃん。

「そこな猫、待て」

どこからか、声がしたにゃん。

「誰だにゃん？」

僕は爪を立てて警戒したにゃん。

「私は悪魔コツリ。お前を我が僕わがにする」

「何だにゃん？」

僕はいきなり何かの力で飛ばされたにゃん。

「はっ！」

気がつくと、そこは暗い洞窟のような場所。

「私は一体？」

近くにある小さな泉に近づき、水を飲もうとした。

「うわ！」

私は仰天して退いた。泉の底から、得体の知れぬ者がこちらを見  
ていたのだ。

「何だ？」

私はもう一度、泉を覗いた。

「もしかして……」

嫌な予感。右手を動かす。相手は左手を動かす。ああ、やっぱり。

「これは、私でしたか」

でも私は一体誰だ？ しかも、何だ、このふざけた服装は？

まるで道化だ。

「お前は今日から妖精テックだ。私のために働くがいい」

どこからか、不気味な声が聞こえた。すると驚いた事に私の身体はその声に反応した。

「ホッハウ。畏まりました、コツリ様」

そう、我が名はテック。皮のコートが似合うチョイ悪オヤジ型妖精さ。

続く、かも知れない……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8548j/>

---

御徒町樹里の冒険外伝 ネコにゃん、旅に出る

2010年12月31日20時18分発行